

# 高所からの墜落

ベランダ・窓からの墜落



## 1. 疫学

消費者庁の集計<sup>1)</sup>によると、平成26年からの5年間に9歳以下の小児が建物から墜落し死亡する事故が37件発生していた。墜落は夏場に発生しやすく、特に3~4歳が多い。全体では窓からが多いが、死亡に繋がりがやすいのはベランダからの墜落である。医療機関ネットワーク事業によるデータでは、墜落は小児だけで遊んでいる時に起こりやすく、特に窓枠に座る・網戸に寄りかかる（23%）等が危険因子となっている<sup>1)</sup>。

平成26年  
から5年間

37件  
墜落死亡



3-4歳  
特に多い

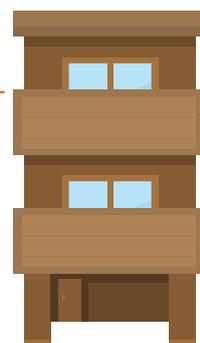


夏場  
発生  
しやすい

## 2. 病態

年少児ほど体重に占める頭の割合が大きく、墜落時に頭が下になり、頭部外傷が起こりやすく、重症にもなりやすい<sup>2)</sup>。死亡事故は主に高所墜落（2階もしくは6.7m以上）時、またはコンクリート等の硬い表面に当たった時<sup>3)</sup>とされている。

2階もしくは  
6.7m以上

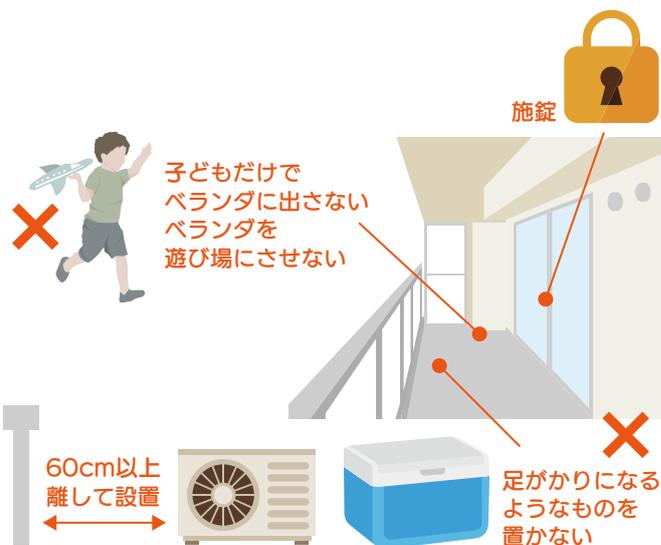


## 3. 応急処置

外傷初期診療ガイドライン（JATEC）に準じて生理学的徴候を評価し、必要な介入を迅速に行う。（意識の有無に関わらず、頸椎保護を念頭におく）

## 4. 予防・啓発

- ベランダへの出入り口を確実に施錠する。（補助錠による二重ロックを推奨）
- 子どもだけでベランダに出さない、ベランダを遊び場にさせない。
- 子どもだけを家に置いて外出しない。
- 窓の近くやベランダに足がかりになるようなものを置かない。
- エアコンの室外機は手すりから60cm以上離して設置する。



施錠

子どもだけで  
ベランダに出さない  
ベランダを  
遊び場にさせない

60cm以上  
離して設置

足がかりになる  
ようなものを  
置かない

参考文献 1) 消費者庁 News Release（令和2年9月4日）. 窓やベランダからの子どもの転落事故に御注意ください！

2) Vaughn A Harris, et al. Pediatrics. September 2011, 128(3) 455-462.

3) American Academy of Pediatrics Committee on Injury and Poison Prevention. Pediatrics May 2001, 107(5) 1188-1191.